

令和8年度 入学試験問題 前期日程 多文化社会学部
小論文（本問題） 出題意図

テーマ：ジェントリフィケーションについて

出題意図

ジェントリフィケーションという言葉は、1964年にルース・グラス『ロンドン』において初めて使用された。その用語で表現されたのは、インナーシティの労働者階級の居住地が、ミドルクラス（ジェントリ）の都心回帰にともない、建造物が改修され、高級化し、「改善」される現象であった。しかし、課題文の筆者は、ジェントリフィケーションは、支配者層による土地の略奪、労働者階級の立ち退きがともなうものであり、「都市再生」という名のもとに、労働者階級に対する差別的感性を市民社会の価値観の中に組み込み、「浄化」という「正義」によって彼らを「排除」する暴力の表れである、とする。今日において、この現象は「惑星」規模でみられ、とくにオリンピックをはじめとするメガイベントの開催を契機に発生している。

多文化社会学部では、多文化社会が抱える様々な課題や現象を捉え、多文化共生社会の実現とその問題解決に向けて行動する力を身に付けることを目標に掲げている。本問題では、上述のジェントリフィケーションをテーマとして、都市の再開発にともなう社会問題の様相とその背景をどのようにとらえ、その解決に向けてどうあるべきか、を問う。各問を通して、現実世界の諸問題に取り組むための批判的・論理的思考力と文章による表現力を評価し、主体的かつ包括的に考える力をもつ受験生の選抜を行う。

問1 下線部①と筆者が危惧する事象について、資料の内容に即して200字以内で説明しなさい。

（問1の出題意図）ジェントリフィケーションが直接的・間接的な方法で経済的弱者から土地を略奪するという事を、資料の正確な読解により把握し、既定の文字数で的確に要約することができるか。解答者の読解力と文章表現力を評価する問題である。

問2 下線部②とあるが、それはなぜか。資料の内容に即して600字以内で説明しなさい。

（問2の出題意図）筆者が指摘するように、オリンピックなどのメガイベント開催が都市にとって特別な、「例外的な機会」として捉えられ、例外的な手段が正当化され、スタジアム等の建設にとどまらず、高級マンション、商業施設の建設ラッシュを招きジェントリフ

イケーションを引き起こすという仕組みを、資料の内容に基づき論じさせることで、解答者の読解力、批判的・論理的思考力、文章表現力を評価する問題である。

問3 下線部③のように、オリンピック開催に伴う都市の「浄化」が日常生活の感性を動員して行われる、という状況を踏まえて、「都市再生」の諸問題について、事例を一つ挙げながらあなたの意見を述べなさい。解答は全部で800字以内にまとめること。

(問3の出題意図) 筆者によれば、経済的弱者、住宅市場における弱者に対する立ち退きという暴力は、公権力のみならず、市民社会に蔓延させられた「正義」によっても実行されるという。こうした指摘を踏まえて、ジェントリフィケーションを作動させる社会的状況を資料から読み解かせ、そのうえで「都市再生」のあり方や、それにともなって生じる諸問題とその解決に向けた課題について、主体的・包括的に考えさせることを通じて、解答者の読解力、批判的・論理的思考力、文章表現力を評価する問題である。